

普及活動情勢報告（令和7年2月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

農薬使用に気をつけよう！ ～JA高知県十和シントウ部会出荷反省会～



今作の振り返りについて報告

1月24日に令和6年度JA高知県十和シントウ部会の反省会が開催され、生産者17名が参加しました。

JAからは今作の生産状況や農薬の安全使用指導、非辛みシントウの食味アンケートについて報告がありました。普及所からは、高温対策やSAWACHIの紹介、非辛みシントウの栽培方法と農薬の適正使用について情報提供を行いました。

生産者からは「農薬は普段気をつけて使用しているが、なお気を引き締めるようにしたい」など農薬に対するさらなる意識の向上がうかがえました。

今後も普及所はJAと連携しながら、安全なシントウ生産に取り組んでいきます。

香南市の農家に学びに行ってきました ～女性活躍推進事業視察研修～



眞嶋農園の取組を学ぶ参加者

1月30日、四万十町内の女性農業者等を対象に、香南市の眞嶋農園への視察や、中央東地区農村女性との交流会を実施し、農家や関係機関等で18名が参加しました。

この研修は、当地区の農村女性リーダーが中心に企画し、普及所は全体のコーディネートを行いました。眞嶋農園では、Uターン移住や酪農とトマトの循環型農業、経営移譲などのお話を伺い、交流会では、両地区の農業経営や担い手問題、年代による農業への関わりの変化など、様々な意見交換ができました。

参加者からは、「会って・見て・聞かないとわからないことが多い」「改めて研修の大切さを感じました」などの感想をいただきました。

普及所は、今後も地域の農家や関係機関と連携し、女性や若者の活動支援に取り組めます。

農薬事故ゼロに向けて ～JAみどり市直販部・農薬安全使用講習会～



農薬の安全使用を周知

2月4日、JA高知県四万十農協会館において、みどり市直販部の会員のべ60名を対象に、本年度2回目の農薬安全使用講習会を実施しました。

講習会では、前半は種苗会社による露地野菜の栽培講習、後半は普及所から農薬使用基準の遵守、誤使用の原因、生産履歴の出荷前提出、計画的な防除など、農薬の安全使用を周知しました。

後半の農薬講習のみ参加する方も複数みられ、使用回数のカウント方法、展着剤の使い分けなど、日頃の使用場面で疑問に思っていた点などについて質問がありました。

普及所では今後もJAと協力し、農薬安全使用を啓発します。

組織間連携等の先進事例を学ぶ ～四万十町集落営農先進地視察研修（広島県東広島市）～



法人の取組状況等の説明を聞いている様子

2月6～7日に、広島県東広島市の2法人へ先進地視察研修を行い、関係者を合わせて24名が参加しました。普及所は、視察先との調整や研修内容等をコーディネートしました。

(株)ファームサポート広島中央からは組織間連携の取組経過を中心に、(農)重兼農場からは、担い手確保対策と組合員の組織運営への関わり方や、地域の農地を守るための考え方など、幅広い説明を聞きました。

参加者からは「JAとうまく連携している」、「従業員の様々な働き方がある」など、初めて知る取り組みに関心を寄せていました。

組織間連携は地域の課題であり、普及所は関係機関と協力して、持続的な農地を守る仕組みづくりにつなげていきます。